

事業所名

ココロノイロ

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

24 日

法人（事業所）理念		【法人理念】だれもが 人として大切にされ 地域で 自分らしくいきるために 私たちは 利用者はじめ だれからも信頼される支援を行い 安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します 【事業所理念】しあわせねっこはぐくむために ココロわくわくのびのびと ゆうらりほっこりしなやかに みちくさしながらぼちぼちと まるごとたのしみぼちぼちいこか							
支援方針		○子ども一人ひとりの発達を支援する 子どもたち一人ひとりの発達を深く知り、環境を整え子ども自身もつ育つ力を支援します。 ○家族と共に歩む 家族の気持ちに寄り添い、子どもの成長と共に喜び、家族の子育てを支援します。 ○関係機関と共に育む 子どもの一貫した発達支援のため、関係機関と繋がりがあい、共に子どもはぐくむ支援を行います。							
営業時間		学校がある日	13 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校がない日	9 時	30 分から	17 時	0 分まで			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	いきいきした姿を自然の中ではなくみ、生きる力を身につける支援をします。 手洗い・健康チェック(自分自身の状態を知ること繋げる、衛生面の大切さなど) / スケジュール表の使用(個別支援による：その日の流れを知る、自分の役割を知るなど) 調理体験(五感で感じ、食べ物調理で変化することを知る、道具の使い方を学ぶ、危険を知るなど) / お散歩、ドライブ(日の光を浴びる、風を感じる、気候を知る、交通ルールを学ぶなど) 掃除(食器洗い、掃除機をかける、トイレ掃除、机拭き、おもちゃ等の片付けなどを行い日常における健康を保つ方法を知るなど) 体を休める(DVD、音楽をかけ横になるなど：こころと体を休め、オンとオフの切り替えを意識するなど) / 防災訓練(身を守る方法を知る、危機とは何かを日頃から知っておくなど)							
	運動・感覚	全身を使って、楽しい、苦しい、好き、嫌いなどの喜怒哀楽を感じる支援を行います。 公園あそび(自然の中で季節、温度、道具を使う、体の使い方を学ぶ、走る、歩く、危険があることを知るなど) / ダンス・体操(リズム感を養う、真似をする、全身運動など) 感覚遊び(手先を使う、好きなならいな感覚を知る、物質の変化を知る、刺激、握る感覚運動など) / 調理体験(力加減を知る、手首やからだの一部の使い方、食べて知る、お箸などの道具を使うことなど) 制作活動(のり、ポンド、シール貼りでの指先の使い方を知る、はさみなどの道具の動かし方を知る、ちぎる・めくるなど体の使う部分で役割が変わることを知るなど) ボールプール・パラバルーン・トランポリン・ハンモック(埋もれる、つつまれるなどの圧力に身を任せてみる。体幹機能の維持、バランスのとおり方を学ぶなど)							
	認知・行動	ものの変化を知り、生活につながる、成長を感じとれる支援を行います。 調理体験・買い物(数量、時間、大きさ、形の違いを知る、計算する、買うものを選ぶ、お金を出すなど) / 制作・描画(色、線、形を知る、記憶、物体の認識、色の変化、合わせ色の作り方を知るなど) 宿題・読み聞かせ(与えられた課題に対し必要な情報を収集して仕上げる、成長を見守る) / パズル・福笑い(絵柄を見て合わせる、パーツの位置の認識など) 粘土(形の変化、造形のイメージを持つなど) / 折り紙(折る、角を合わせる繊細な動きを学ぶなど) しりとり(物の名前を知っている、語尾が分かる、記憶から適した言葉を取り出すなど)							
	言語 コミュニケーション	ありのままを伝える、伝わる自己表現を応援します。 イラスト・絵カードを使った会話(手段を使って会話するなど) / ふれあい遊び(かかわる、かかわられることを知るなど) 会話・あいさつ・自己紹介(自分の事を表現し伝える、言葉づかいを学ぶなど) / 散歩(あいさつ、お互いの存在を感じるなど) 制作・調理体験(ゴールが見える、達成感、成果が分かる、自信がつくなど) / しりとり(他者とのやり取り、もの名前を表現する) 歌を唱う(他者と合わせて発声する、リズムを感じるなど)							
	人間関係 社会性	自分がいて、他者がいる。社会で生きていくことを学びます。 ごっこ遊び(何かになりきる、観察、気持ちの理解など) / 調理体験・買い物(順番を守る、一緒に協力して仕上げる、ルールを守るなど) 公園遊び・キャッチボール・バドミントン(他者を感じる、遊ぶときのルールを知る、守るなど) / パラバルーン(他者と気持ちを合わせるなど) お誕生日会(祝う、祝ってもらう、他者を思いやる気持ちなど) / 地域の行事への参加(行事を知り、参加する。様々な年代の人と触れ合う、かわりあうなど)							
	地域支援・連携 移行支援	関係機関と連携し、安心して地域の中で過ごすことができるように体制を整える ・学校との情報共有、必要に合わせて会議の開催 ・相談事業所および並行利用事業所と情報共有/連携							
地域支援・地域連携	関係機関と連携し、安心して地域の中で過ごすことができるように体制を整える ・学校との情報共有、必要に合わせて会議の開催 ・相談支援事業所との連携必要に合わせて会議の開催 ・地域交流および地域資源を活用したプログラムの提案	職員の質の向上		・法定研修の実施(虐待防止研修/身体拘束等適正化研修/事故防止研修/感染対策研修/感染症BCP研修・訓練/自然災害に関するBCP研修・訓練/消防訓練/安全計画に係る研修コンプライアンス研修) ・理念研修・発達にかかわる勉強会の実施					
主な行事等		・年始行事・節分・ひなまつり・子どもの日・七夕・夏のイベント・ハロウィン・クリスマス会							

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ココロノイロ		公表日		令和7年 2月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	子どもの様子や活動に合わせて公園などで思いっきり体を動かせる外出活動を取り入れています。 適宜子どもの状況に合わせて危険がないよう物品を定位置に戻すようにしています。 子どもたちが思い思いの遊びが出来るように、パーティションで仕切った個別のスペースを用意するなどして環境調整をしています。	子どもたちの静と動を分けるスペースがはっきりとしたものがないので、構造化が出来るようスペースの活用を検討していきます。 整理整頓をしながら、子どもたちにも気持ちの良い環境を提供できるようにしていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	日々のミーティングに職員全員で業務の確認や振り返りをしています。 日常の子どもさんや保護者とのやり取りにおいて改善や強化が必要なことに対してタイムリーに対応できるように意識しています。 日々のミーティングににて働く環境や業務について話し合い、改善できることは出来る範囲で取り組んでいます。 外部参画委員による法人への意見をお聞きする機会があり、業務運営に参考にさせて頂いています。	振り返りが次の支援に繋がるよう情報交換、情報共有をしています。現在の取り組みを継続し、業務改善しながらより良い支援が出来るよう頑張っていきたいです。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	意欲的に参加してもらえるように利用児の特性や好みや嗜好を考え、ココロノイロならではの含めてプログラムを作成しています。 アセスメントシートも活用し、そこからニーズを拾い上げ、浮かび上がった支援課題を5領域に沿った支援の検討を行い、具体的支援に反映しています。	個別支援計画を充実させていくために、今まで以上に面談や聴き取りを丁寧に実施していきます。 一人ひとりが楽しみの広がる支援をしていくために、職員が統一した支援を行えるよう活動会議の運営を充実させていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員全員で話し合い、意見を出し合っています。子どもたちがやりたいと提案してくれた活動は、積極的に取り入れて子どもたちが意欲的に参加できるようにしています。	地域資源を活かした活動の実施を充実させていきます。集団での個別活動の充実に向けていくために、環境調整や体制を整え安全・安心に一人ひとりの様々な経験を重ねられるよう努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	翌日に振り返りを行っています。その日が終わった後にも気づいたことを話すこととし、情報の共有を行っています。記録を記入しながら、支援の方向性や個別支援計画にも反映してより良い支援になるよう工夫しています。	工夫している事を継続し、一人ひとりの職員の意見が反映していける事業運営を実施します。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	職員全員でモニタリング会議や個別支援計画原案にかかる会議を行っています。日々の子どもの動きを観察し、利用児の意向を聴き活動や遊びを考えています。活動への参加は子どもたちに選択してもらっています。	現在の取組を丁寧に重ねていく中で、個別支援計画において具体的な目標を設定し、子どもと一緒に“楽しい”“できた”“またやりたい”を重ねていけるような支援を行っています。基本活動の理解を深めて、様々な利用児の特性に合わせた活動の内容の幅を広げる必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	誕生日月には、子ども達にも個別に意向を聞き取りながら、活動、おやつなど支援へ反映しています。	子どもの意見をより反映していくために子ども会議を実施していきます。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	必要に感じし休養日面談を実施し、その時々 に合わせた支援を行っているように相談事業所等と連携しながら支援しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4	日常の利用時の様子など、都度丁寧にお話させていただくようにしています。 毎月のお便り、ブログにより子どもたちの様子を発信しています。 苦情が上がった際には、即対応することとし、時間がかかる案件に関しては、進捗も含め、説明し対応しています。	保護者同士の交流が持てる取り組みを実施していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	年1回災害伝言ダイヤル訓練、毎月防災訓練を実施しています。	災害時の対応について、保護者の方に分かりやすく共有していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	アセスメントの中で確認し、アレルギー、服薬等があれば詳細の説明書などを確認して、共有しています。	食物アレルギーのお子様の利用がないため、今後いつでも受け入れられるように体制を整えます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	月1回、対策委員会を実施し安全管理を行っています。	安全計画初年度のため、計画的に進めることができなかった面もあるため、日常の中に安全計画を組み込みながら取り組みを進めるよう努めます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	グループでのディスカッション研修をしています。虐待防止について事業所で取り組みを通じて学んでいます。	より良い支援をしていくために、定期的な研修を継続し基本的知識を習得していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	名張育成会 ココロノイロ		
○保護者評価実施期間	2024年11月20日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2024年11月20日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成において、全職員で作成している。	児童発達管理責任者を中心にそれぞれの職員が意見を持ち寄りモニタリング、ニーズ整理を行い様々な視点で意見交換しながら作成している。	具体的な支援目標を立てられるよう取り組みます。事例検討や技術向上に向けた勉強会を実施し、支援技術の向上を図り計画に反映していきます。
2	子どもたちのニーズに合わせた活動の立案・実践	子ども達の意見を反映しながら、調理体験や屋外活動を多く取り入れ、季節を感じられることを中心に五感に働きかけた活動をしています。	子どもたちの意見を聞き反映しながら活動提案していくために、子ども会議を実施します。
3	職員間の情報共有	職員間のコミュニケーション、ミーティングを確保し、それぞれが持っているスキルを持ち合わせ、補い合いながら支援をしています。	情報の整理、強化を図るために会議運営を見直します。また、5S運動を活性化させ必要な情報を誰もが取り入れられる環境にしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域資源の活用する機会が少ない	長期休暇以外は時間が短く、地域資源を活用しづらい	月2回、土曜日開所を開始し地域資源を活用した活動を多く取り入れていきます。
2	保護者同士の交流の機会がない	提案できる土台がなかった	親子参加型のイベントを開催します。
3	関係機関との情報の共有	学校や他事業所との交流の場の確保ができていなかった	学校との連携において、定期的に情報共有ができる仕組みを検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ココロノイロ

公表日 2025年2月17日

利用児童数 30

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	1	調理体験が増えたように思うので、とてもうれしい。公園、他施設などへ連れて行ってもらっているのもありがたい。	自然や四季を取り入れた活動で五感を刺激するよう働きかけ、飽きない活動を工夫していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	1	5		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	0	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	4	4		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	1	職員の方やお友達に会えるのをとても楽しみにしています。	大人や子ども同士のかかわりを大切に小さな社会を体感して頂いています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	大満足です。いつもありがとうございます。	皆様の期待に応えられ続けられるよう日々考え行動していきたいです。